

2025年1月 旅行取扱高状況報告

＜ 日本国内における旅行区分別取扱高 ＞

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	16,972,486	15,668,452	108.3%
国内旅行	3,875,508	3,264,305	118.7%
訪日旅行	817,621	675,842	121.0%
合計	21,665,616	19,608,599	110.5%

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ5社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデートラベル、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準の取扱高となります。

■海外旅行

月間を通して実施した、HIS 最大規模のセール「初夢フェア 2025」にて、価格重視から特別企画などの高付加価値商品まで様々な旅行プランを提供し、春休みやGW、初夏の出発の集客強化を図りました。また、HIS のオリコ提携クレジットカード（Skywalker Card）を、旅ナカの優待サービスを新たに追加し「TAVICA（タビカ）」としてリブランディングし、HIS 利用でポイントが10倍でたまる記念キャンペーンを実施しました。取扱高においては、最大9連休だった年末年始出発の需要が高かったことから、一部反動減がみられたものの、前年同月比で108.3%と堅調に推移しました。中でも、ヨーロッパ・中近東・アフリカ方面の添乗員同行ツアーにおいては、前年同月比で143.3%と好調に推移しており、特に、劇場アニメ「ベルサイユのばら」とのタイアップキャンペーンを開始しているフランスが、前年同月比107.6%とヨーロッパ方面を牽引しました。アジア方面においては、春節（旧正月）による訪日需要増加に伴い、航空券の座席仕入環境が一部悪化するなどの影響がみられ、前年同月比95.4%となりました。

以上の結果、海外旅行取扱高は、前年同月比108.3%の169億7,248万円となりました。

＜ 海外旅行取扱高 方面別・商品別・チャネル別データ ＞

方面別	前年同月比
アジア	95.4%
オセアニア・南太平洋	99.2%
ハワイ・ミクロネシア	111.6%
欧州・中近東・アフリカ	126.6%
北米・中南米	103.7%

商品別	前年同月比
手配旅行	102.5%
企画旅行	113.3%

チャネル別	前年同月比
店舗	105.9%
オンライン	109.4%

■国内旅行

「初夢フェア」において、特別施策の総額2.5億円・最大20%割引「初夢ウルトラクーポン」が早々に上限に達し、総額1億円・最大10%割引を追加設定するなど、間際の出発から初夏にむけた集客が奏功しました。取扱高においては、「長崎キャンペーン」にて、ホテルの客室アップグレード特典や、ハウステンボスや五島列島との周遊コースなど様々な滞在プランを展開したことで、単価アップにつながり、強化方面である九州方面全体の前年同月比114.9%と伸長しました。また、HIS グループのお客様だけの特別貸切バスツアーとして、新潟県で「津南ランタン打ち上げ体験ツアー」を実施。ランタン打ち上げの後は長岡まつり大花火大会の参加企業による花火とランタンのコラボレーションが好評で、556名のお客様にご参加いただき、バスツアーの前年同月比122.9%になる後押しとなりました。

以上の結果、国内旅行取扱高は、前年同月比118.7%の38億7,550万円となりました。

■訪日旅行

タイ最大級の旅行博覧会である「Thai International Travel Fair」において、桜の開花シーズンとタイの旧正月「ソングラーン」の訪日需要を獲得すべく、自治体と連携したプロモーション活動や訪日旅行商品の販売を行いました。1月の取扱高においては、団体旅行にて、アメリカの大学からの「Japan Trek」の新規受注により、HIS 海外法人からの受客を牽引したほか、ジャパンホリデートラベルでは、先月同様、北海道・旭山動物園をはじめ、岐阜県・白川郷、山形県・銀山温泉やスキーツアーなど、冬ならではの個人旅行商材が前年同月比122.0%となり、取扱高を牽引しました。

以上の結果、訪日旅行取扱高は、前年同月比121.0%の8億1,762万円となりました。

2025年1月の日本国内における旅行取扱高合計は、前年同月比110.5%の216億6,561万円となりました。

2025年1月 海外における旅行取扱高状況報告

< 海外における旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比
インバウンド	9,028,491	6,939,843	130.1%
アウトバウンド	15,276,702	17,765,854	86.0%
合 計	24,305,193	24,705,698	98.4%

※エイチ・アイ・エス海外現地法人 32 社と海外子会社 4 ブランド (MIKI グループ、MERIT TRAVEL、JONVIEW CANADA、RED LABEL VACATIONS) の社内取引相殺前の取扱高となります。なお、為替換算レートにつきましては、期中平均レートにて算出しております。

※海外におけるインバウンドとは、各海外拠点における旅行受客業務の取扱高。 海外におけるアウトバウンドとは、各海外拠点における旅行送客業務の取扱高。

■ 海外インバウンド

イタリアでは、前月に引き続き、バチカンの聖年を記念した巡礼ツアーにおいて、旧正月の時期と重なった結果、フィリピンや中国などのアジア圏から多くの集客を獲得したことに加え、日本からの修学旅行が取扱高に貢献し、前年同月比 158.5%となりました。スペインでは、アジアマーケットに対するシリーズパッケージツアーの販売が好調であったことに加え、日本からの添乗員付きツアーにおける着後の旅行商材の販売が取扱高を牽引した結果、前年同月比 164.2%となりました。また、取扱高を牽引するハワイでは、デラックスホテル指定のツアー商品の販売促進と、福岡発のツアー商品のプロモーション活動による集客強化が奏功し、前年同月比 120.0%となりました。

以上の結果、海外インバウンド取扱高は、前年同月比 130.1%の 90 億 2,849 万円となりました。

■ 海外アウトバウンド

アメリカでは、学生向けの日本行き観光旅行プログラムであるジャバントレックと大手日系企業のアメリカ国内における視察旅行の送客が取扱高に大きく貢献し、前年度同月比 119.4%と好調に推移しました。また、ドイツでは現地日系企業に向けた年始の一時帰国手配が増加し、前年度同月比 104.7%と堅調に推移しました。一方、取扱高を牽引するカナダでは、ホールセールやオンラインを介した送客は堅調に推移したものの、B2B におけるロイヤリティプログラムの契約終了に伴う取引高の減少を、他の事業で賄うことができず、前年同月比 84.2%と着地しました。さらに、東南アジアでは、春節による航空券仕入れの一部悪化がレジャー旅行に影響を及ぼし、前年同月比 74.0%となりました。

以上の結果、海外アウトバウンド取扱高は、前年同月比 86.0%の 152 億 7,670 万円となりました。

2025年1月の海外の旅行事業取扱高合計は、前年同月比 98.4%の 243 億 519 万円となりました。

また、海外における新規事業として、ロサンゼルス地区における独占ライセンス契約を締結した日本の人気ベーカリーカフェ「パンとエスプレッソ」米国1号店の「BREAD, ESPRESSO &」が、カルフォルニア州・レドンドビーチにて HIS アメリカ法人の運営で出店するなど、非旅行事業の拡大に努めました。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス

I R室 : 050-1746-4188

広報室 : 050-1746-4177